

令和7年度

市政モニターアンケート調査結果
【 市営合葬墓の整備について 】



長 崎 市
資産経営課

1. 調査の目的

お墓については、少子高齢化や核家族化の進展に伴い、維持管理ができない、後継ぎがない、無縁墓となるなどの課題が今後ますます増加することが見込まれることから、このような課題への対応を検討するため、お墓の在り方を検討する必要があります。

そこで合葬墓など、お墓に関する市民の皆様の考えを把握し、お墓の在り方について研究を進めるためにアンケートを実施しました。

2. 調査の概要

調査期間：令和7年7月22日 ～ 令和7年8月3日

送付数：269人

回答率：78.8% (212人)

(郵送回答 126人 インターネット回答 86人)

3. 調査結果

今回の調査結果において、お墓に関する不安や課題として主に「継承者がいない」「維持管理費用の負担が大きい」「遠方や高齢により維持管理が困難」と回答された方が多く、また、合葬墓の整備について「必要である」又は「どちらかといえば必要である」と回答した方は全体の約8割であり、その理由の回答内容から、概ね上記の不安や課題が背景にあることが分かりました。

一方で、合葬墓の整備について「必要でない」又は「どちらかといえば必要でない」と回答した方は主に「家族間での話し合いにより墓地管理ができています」「既に自家用墓の所有や散骨といった代替手段がある」「整備及び維持にかかる行政コスト増加の懸念」と考えられていることが分かりました。

合葬墓の整備に当たってこれらの意見等を参考にさせていただき、今後も、お墓の在り方について研究を進めてまいります。

4. 調査結果の見方

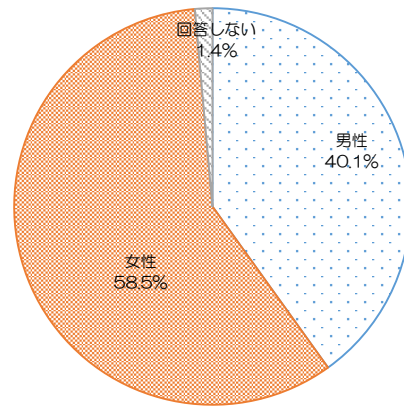
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、回答者数に対する各選択肢の有効回答数の割合であるため合計が100パーセントを上回り、各選択肢においてどれだけが選択したかを分析して、横棒のグラフにより示しています。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

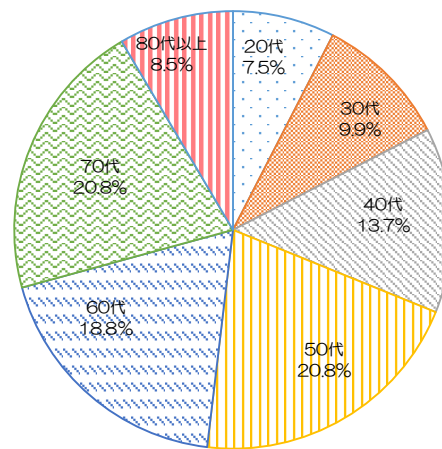
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	85人	40.1%
女性	124人	58.5%
回答しない	3人	1.4%
合計	212人	100.0%



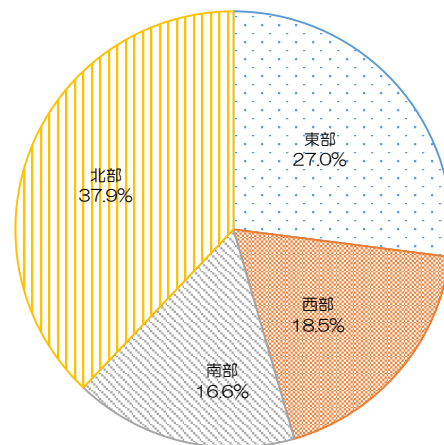
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	16人	7.5%
30代	21人	9.9%
40代	29人	13.7%
50代	44人	20.8%
60代	40人	18.8%
70代	44人	20.8%
80代以上	18人	8.5%
合計	212人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	57人	27.0%
西部	39人	18.5%
南部	35人	16.6%
北部	80人	37.9%
合計	211人	100.0%

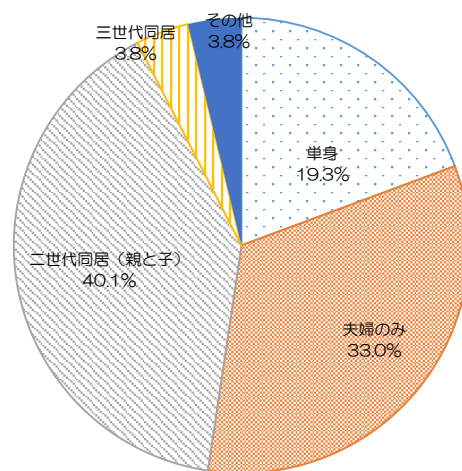


(無回答 1人)

※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

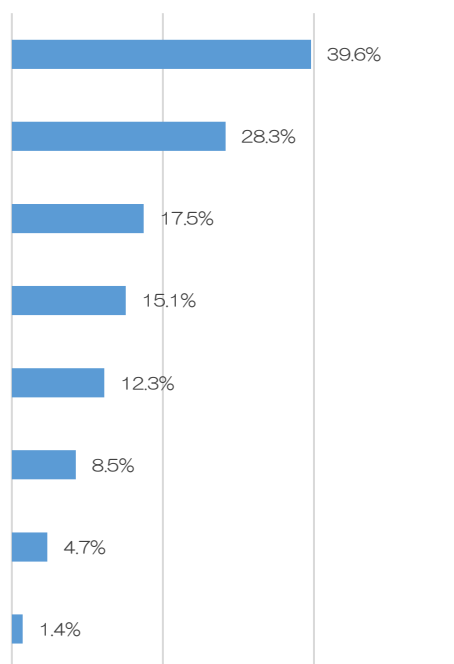
問4 ご家族構成をお答えください

選択肢	回答者数	割合
単身	41人	19.3%
夫婦のみ	70人	33.0%
二世世代同居 (親と子)	85人	40.1%
三世世代同居	8人	3.8%
その他	8人	3.8%
合計	212人	100.0%



問5 現在のお墓の状況についてお答えください。(複数回答可)

選択肢	回答者数	割合
既に自家の墓がある (市内)	84人	39.6%
先祖代々の墓がある	60人	28.3%
納骨堂を借りている	37人	17.5%
既に自家の墓がある (市外)	32人	15.1%
特に所有する予定は ない	26人	12.3%
墓地の永代使用权を 所有している	18人	8.5%
墓地を探している	10人	4.7%
その他	3人	1.4%

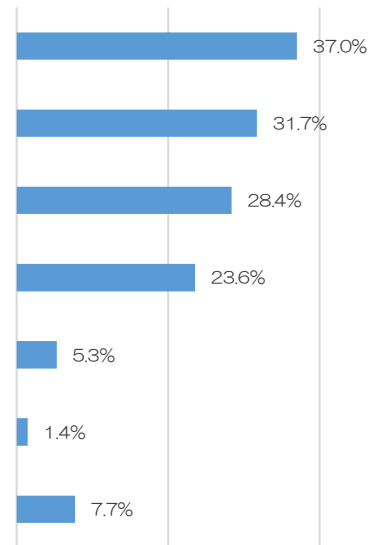


(回答者数 212 人、有効回答数 270)

※その他の意見：まだ墓に入れていない等

問6 お墓に関する不安や課題についてお答えください。(複数回答可)

選択肢	回答者数	割合
維持管理が困難 (遠方、高齢)	77人	37.0%
継承者がいない	66人	31.7%
特に不安はない	59人	28.4%
維持管理費用の負担が大きい	49人	23.6%
宗教・戒名の問題	11人	5.3%
改葬を検討している	3人	1.4%
その他	16人	7.7%

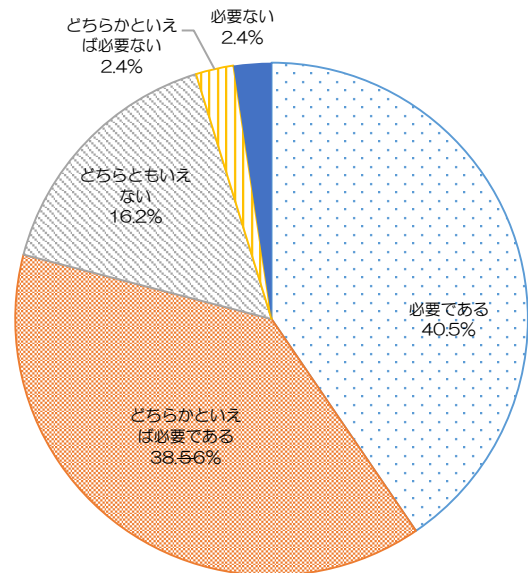


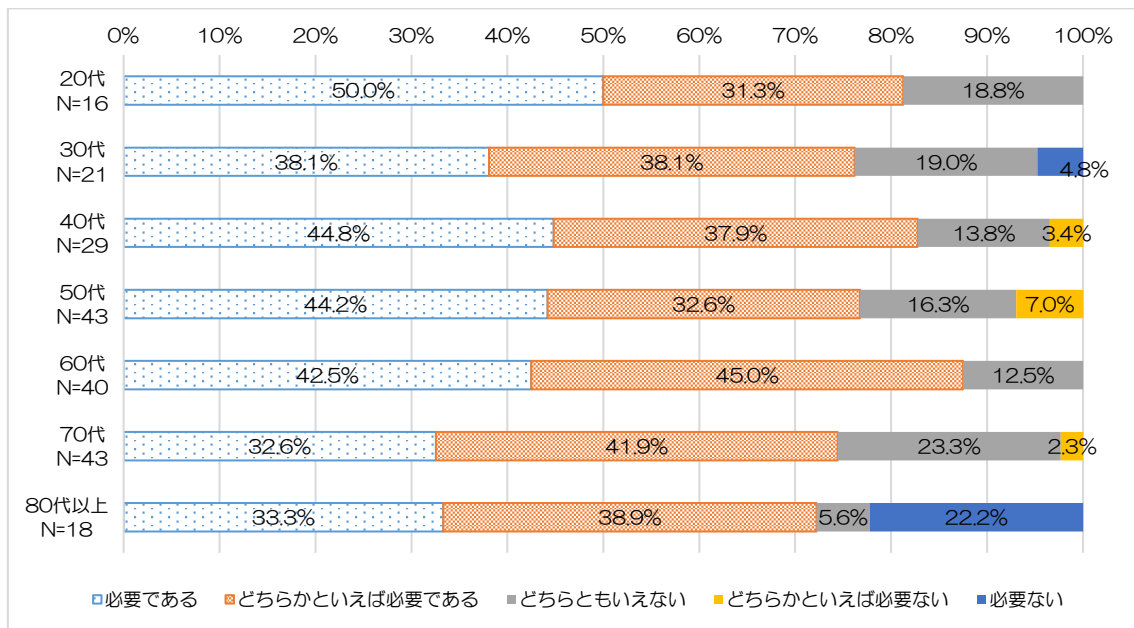
(回答者 208 人、有効回答数 281)

※その他の意見：金銭的な問題、継承者に関する問題等

問7 長崎市内に合葬墓の整備は必要だとお考えですか。(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
必要である	85人	40.5%
どちらかといえ ば必要である	81人	38.6%
どちらとも いえない	34人	16.2%
どちらかといえ ば必要ない	5人	2.4%
必要ない	5人	2.4%
合計	210人	100%





問8 問7でお答えいただいた理由を具体的にお書きください。

(1)「必要である」または「どちらかといえば必要である」と回答した方の意見(166人)の要約

ア 継承者問題

少子高齢化により墓の継承者がいない、または子どもが県外に転出し遠方に住み、墓の維持管理が困難になっているケースがあり、親世代が子どもに負担をかけたくないという点に配慮する必要があるため。

イ 立地・アクセスの問題

長崎特有の地形により、墓地が山間部や斜面地に位置しており、高齢者にとって墓参りや維持管理が身体的に困難であるため。

ウ 経済的負担

墓地購入費用、維持管理費、墓じまい費用などの経済的負担が重いため。

エ 選択肢の多様化

時代の変化に伴い、墓に対する価値観が変化し、より簡素で管理しやすい供養方法を求めたいと考えているため。

(2)「必要ない」または「どちらかといえば必要ない」と回答した方(10人)の意見の要約

ア 個人・家族での対応

- ・家族間での話し合いによる解決や、個人での納骨堂利用の検討で十分対応できるため。
- ・現在も墓地管理ができており、息子の世代まで継承可能と判断しているため。

イ 代替手段の存在

既に自家用墓を所有している場合や、お寺が「永代納骨供養塔」の運用を開始するため特に必要性を感じないため。

ウ 地域における現状

長崎のほとんどの家族が先祖の墓を継承している現状があると思うため。

エ 行政コストへの懸念

行政の維持・整備コストの将来的な増加を懸念するため。

(3)「どちらともいえない」と回答した方(34人)の意見の要約

ア 知識・認識不足による判断保留

合葬墓という言葉をはじめて聞いた、お墓に関する知識がない、若いので考えたことがなかったなど、合葬墓に対する市民ニーズについて理解不足であるため。

イ 個人的な抵抗感と現実的必要性の葛藤

他人とひとまとめにされるのは個人的に嫌、合葬墓には少し抵抗があるといった心理的な抵抗感がある一方で、子供が他府県に出て戻ってこない、お墓を守っていけるかという現実的な問題もあるなど、現代の社会情勢を踏まえた必要性も理解している複雑な心境があるため。

ウ 公的整備への疑問

宗教やお寺の経営難に繋がる問題があるので、市で整備するのが適切なのか疑問、公費を投入することはどうなのかといった、行政による合葬墓整備の妥当性に対する懸念があるため。

エ 需要や運用面での不安

どれくらいの需要があるのか調べる必要がある、故人が特定できないのは後悔が残らないか不安など、実際の需要や運用方法に対して慎重さが求められると考えるため。

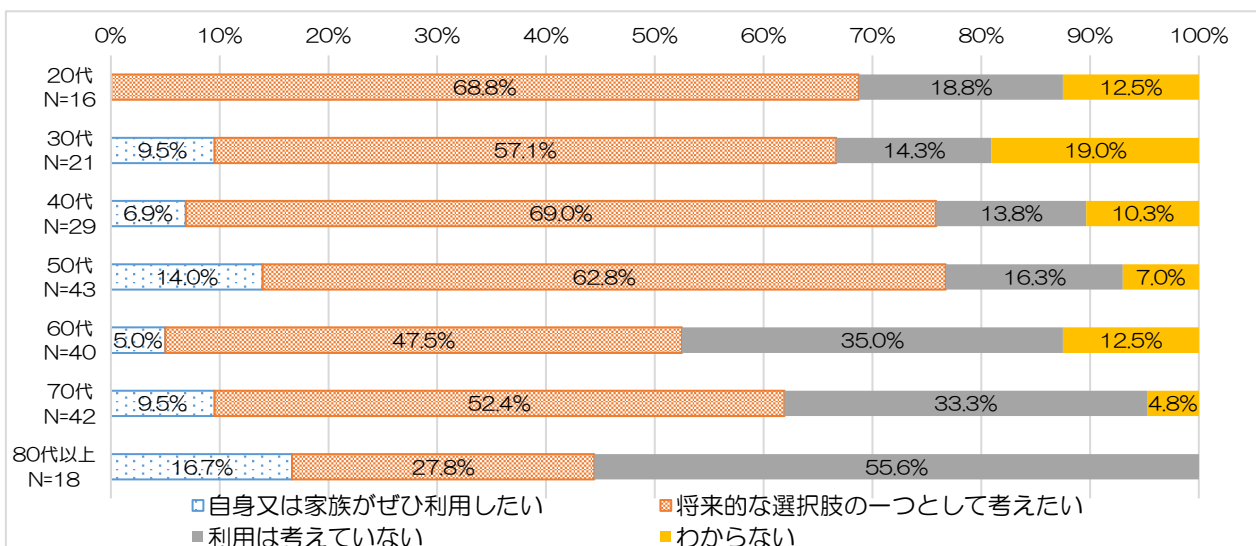
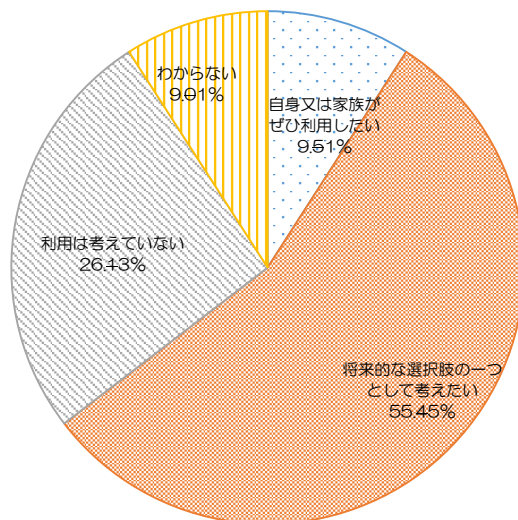
オ 価値観の多様性への配慮

人の考えはさまざまで宗教によっても考え方が違い、墓についての考えも多様化しているため。

問9 仮に合葬墓が整備された場合、利用についてどのようにお考えですか。

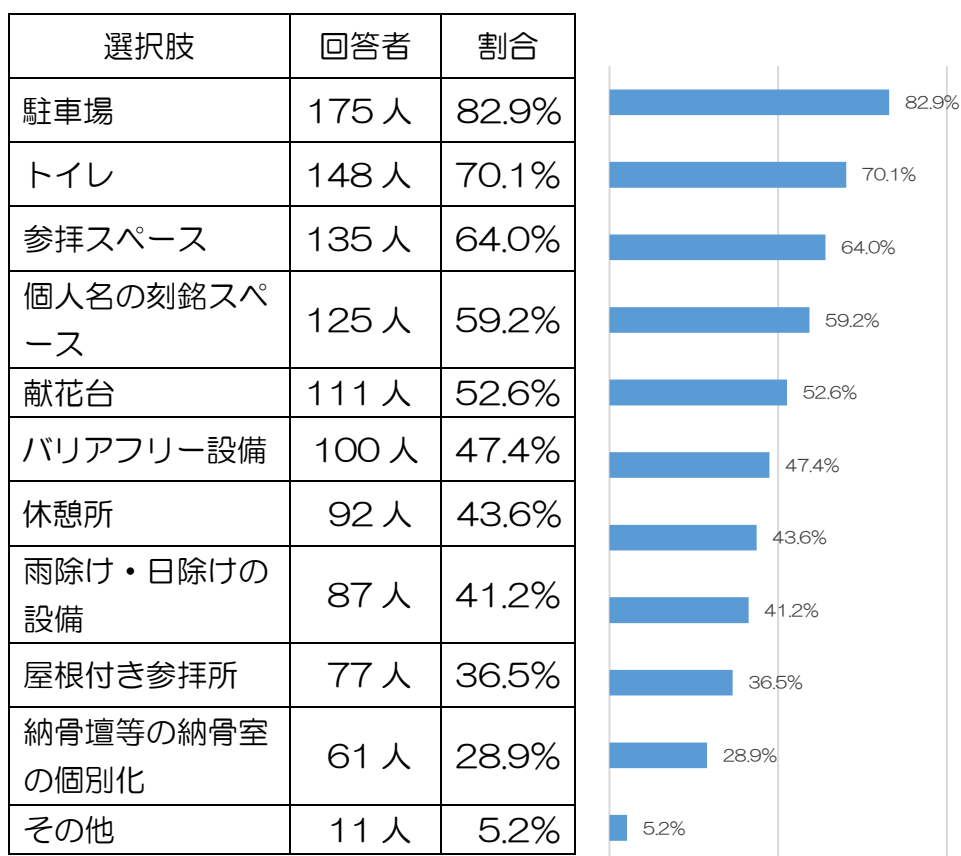
(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
自身又は家族がぜひ利用したい	19人	9.1%
将来的な選択肢の一つとして考えたい	116人	55.5%
利用は考えていない	55人	26.3%
わからない	19人	9.1%
合計	209人	100%



問 10 仮に合葬墓を整備する場合、必要だと思われる機能をお答えください。

(複数回答可)



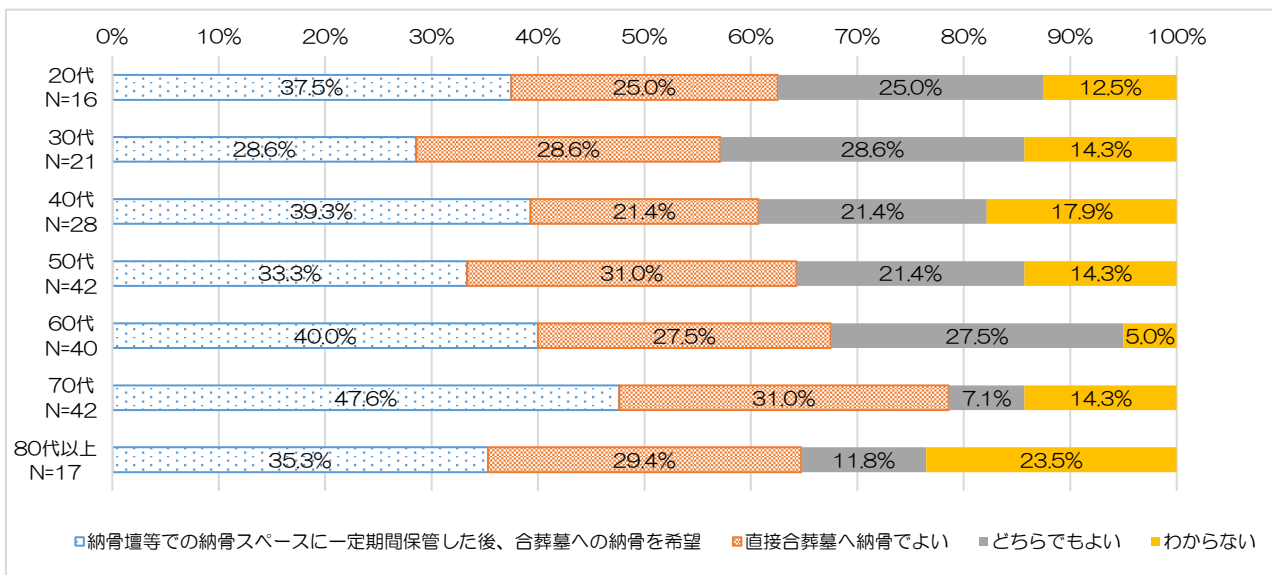
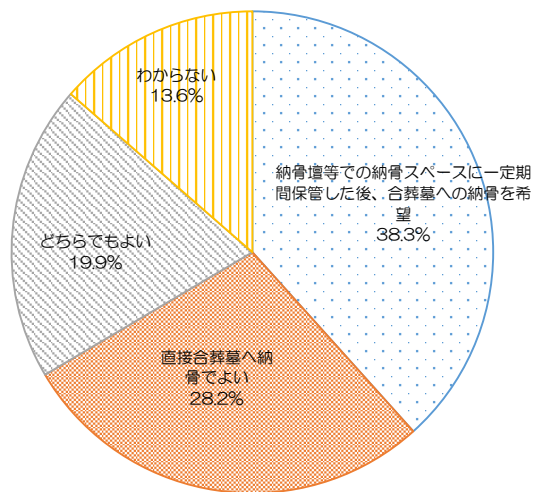
(回答者 211 人、有効回答数 1,122)

※その他意見：ゴミ置き場、自動販売機等

問 11 合葬墓での納骨方法について、ご希望をお答えください。

(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
納骨壇等での納骨スペースに一定期間保管した後、合葬墓への納骨を希望	79人	38.3%
直接合葬墓へ納骨でよい	58人	28.2%
どちらでもよい	41人	19.9%
わからない	28人	13.6%
合計	206人	100.0%

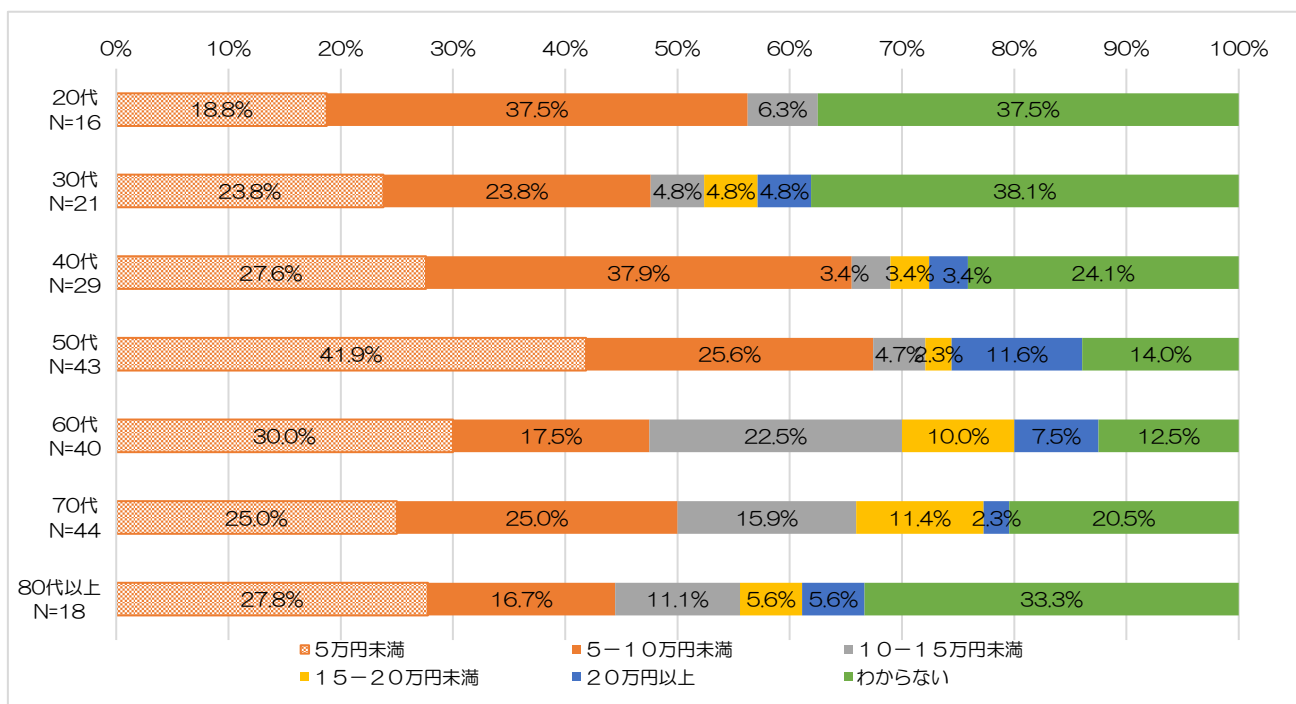
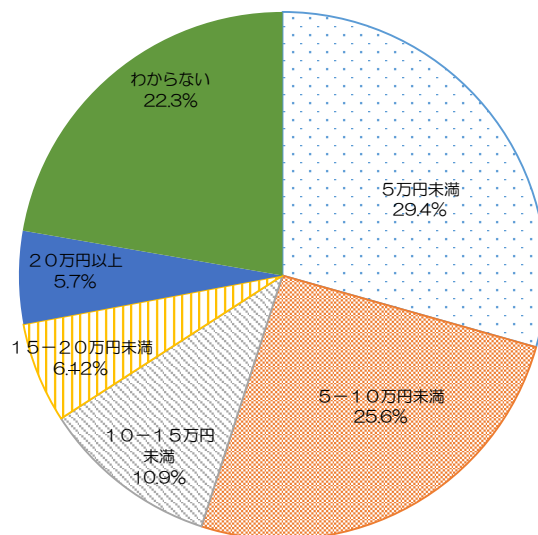


問12

合葬墓の永代使用料（最初の1回のみ）について、適切とお考えの金額をお答えください。

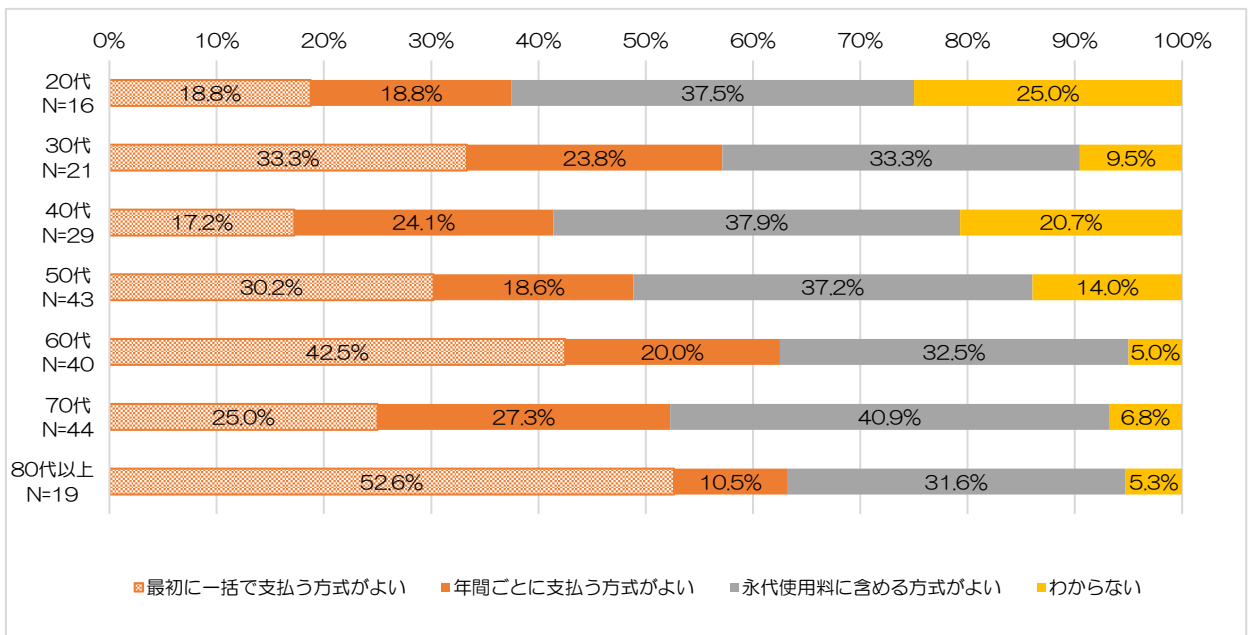
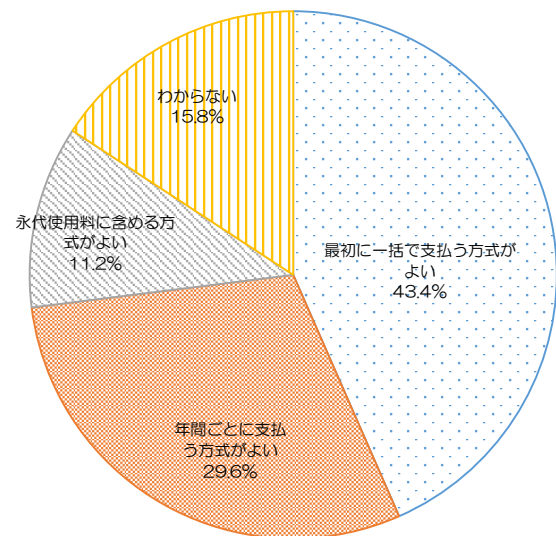
（当てはまるもの1つ回答）

選択肢	回答者数	割合
5万円未満	62人	29.4%
5-10万円未満	54人	25.6%
10-15万円未満	23人	10.9%
15-20万円未満	13人	6.2%
20万円以上	12人	5.7%
わからない	47人	22.3%
合計	211人	100%



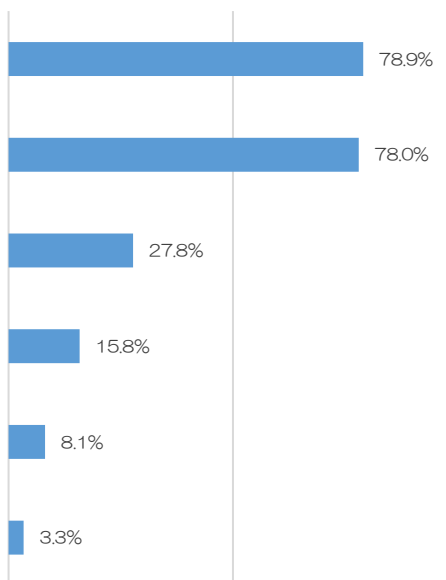
問13 維持管理料について、どのようにお考えですか。(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
最初に一括で支払う方式がよい	66人	43.4%
年間ごとに支払う方式がよい	45人	29.6%
永代使用料に含める方式がよい	77人	11.2%
わからない	24人	15.8%
合計	212人	100.0%



問14 合葬墓の立地について重要だと思われる点をお答えください。(複数回答可)

選択肢	回答者数	割合
駐車場の確保	165人	78.9%
公共交通機関からのアクセス	163人	78.0%
緑地・公園との一体性	58人	27.8%
周辺の静けさ	33人	15.8%
既存墓地との近接性	17人	8.1%
その他	7人	3.3%



(回答者 209 人、有効回答数 443)

その他の意見：神社や寺の近く等

問15 合葬墓の整備について、その他ご意見やご要望がございましたらご自由にお書きください。

全体概要

全体的には合葬墓整備に対する理解と期待が多く見られる。また立地選定、周辺住民への配慮、宗教的配慮、子育て支援など他施策を充実させるほうが優先ではないかなど、市営合葬墓整備に向けた具体的な課題についても多角的な意見が寄せられている。

(1) 肯定的な意見の要約

少子化・過疎化による無縁墓増加や墓じまい問題への対応として、合葬墓の公的整備を社会的に必要な施策と評価している。特に公営による低価格での提供と維持管理費軽減を民間の高額な納骨堂に代わる選択肢として期待している。

立地・施設面では、公共交通機関で行きやすい場所における整備、十分な駐車場確保、バリアフリー対応の徹底を求める声がある。また、お線香・ローソクの現地購入、祭壇設置、故人名表示による個人識別、定期的な清掃管理体制、樹木葬併設、緑地・公園との一体化による心安らぐ環境整備など、具体的なサービス、設備整備に関する要望も寄せられている。

(2) 否定的な意見の要約

街中における整備による周辺住民への迷惑や、お盆・お彼岸時期の混雑による騒音問題が挙げられている。宗教的観点では、既存寺院・住職から反対される心配、無縁仏との違いへの根本的疑問、宗教的配慮の必要性が指摘されている。

予算面では、子育て支援など他施策への優先配分や将来的な維持管理費用への懸念、簡素な施設にとどめるべきとの意見がある。また、駐車場やバリアフリーなどの必要な設備の整備を考慮すると、アクセスしやすい場所への整備は現実的に困難ではないかとの指摘や、長崎市の景観保護の観点から都市美観への影響を懸念する声も見られる。